

経営体の概要

(令和6年5月現在)

- 所在地：高知県長岡郡本山町
- 経営体名：
 - 本山町特産品ブランド化推進協議会（35戸）
 - 財団法人本山町農業公社
- 栽培作物・作付面積：
 - 水稲・31.2ha（ブランド米の作付面積）
- ブランド名：『土佐天空の郷』

導入技術

- 水田センサー[ベジタリア(株)]
- アグリノート[ウォーターセル(株)]

導入経緯

- 『土佐天空の郷』の知名度は、H22、28年の「お米日本一コンテストinしずおか」での特別最高金賞の受賞を機に全国区となる。
- 本山町では、高齢化等による農業生産の縮小を抑制するため、ブランド米『土佐天空の郷』の生産拡大、所得向上による地域の活性化を推進。
- 一方で、地域ブランド米の取組が全国各地で活発となり、ブランド力・信頼性の維持・向上には、食味・品質の高位安定化が重要に。
- 併せて、高齢化による水稲栽培管理の省力化も必要に。
- 「水田センサー」によるほ場内の微気象情報のリアルタイム把握とデータ蓄積、「アグリノート」による栽培記録管理によって、食味・品質の高位安定化と、水管理等の省力化を図る。

取組の特徴・効果

- 総務省のH29年度「IoT実装推進事業」を活用して導入。
 - 水田センサー100台（うち気象計付10台）、アグリノート
- 「アグリノート」では、高齢化に伴って農業公社へ集積（作業委託）されたほ場を一括管理（管理作業の煩雑化を軽減）。
- 「水田センサー」では、リアルタイムの水位情報によって、水管理を省力化。（農業公社の管理ほ場では見回り時間が2割程度削減）
- 「水田センサー」から得られるデータを栽培指導に活用。
 - 出穂後の積算気温による適期収穫指導（H30～）
 - 中干し、穂ばらみ期湛水管理の重要性（R元～）

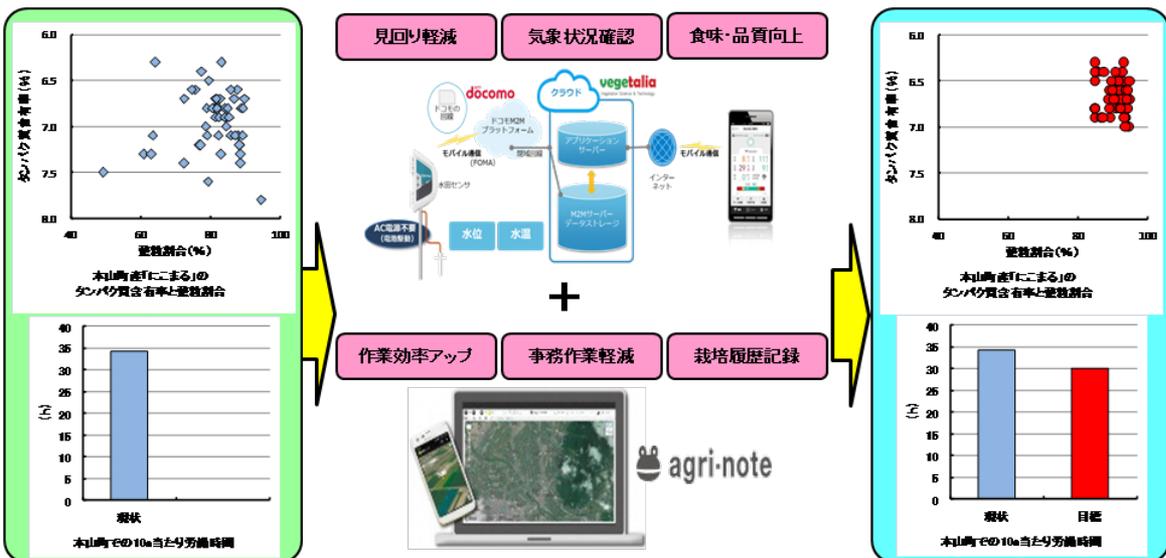


図 取組イメージ